イエローグリーンキャンペーン 2026 ライトアップについて

１．趣旨

世界保健機構（WHO）が定めている世界禁煙デー（5 月 31 日）から 6 月 6 日までを厚生労働省では禁煙週間と位置づけており，その期間に，宮城県イエローグリーンキャンペーン推進会議がライトアップを呼びかけ，受動喫煙防止の啓発を行っている。

推進会議に参画している大崎市医師会の依頼を受け，大崎市でも活動の趣旨に賛同し，ライトアップを実施するとともに，市内の施設へ呼びかけている。

イエローグリーンは，受動喫煙を望まないことを表現するもので，長崎県佐世保市の市民のアイディアから生まれた。たばこの煙が嫌でも，吸っている本人に伝えることはためらってしまうときに，イエローグリーンのリボンを身に着けて，さりげなく受動喫煙を望まないことを伝えるもの。本活動は年々全国に広まってきており，宮城県においても宮城県医師会などが「宮城県イエローグリーンキャンペーン推進会議」を立ち上げ，関係団体に広く参加を呼びかけ，多くの施設でライトアップを実施している。

２．主催　宮城県イエローグリーンキャンペーン推進会議
（市内参画団体：大崎市医師会，大崎市市民の禁煙をすすめる会）

３．協力　大崎市

４．日時　令和８年５月 31 日～６月６日の禁煙週間内
（ライトアップは，日没～各施設消灯時間）

５．場所　大崎市役所本庁舎の植栽におけるのライトアップ
（市内ライトアップ予定施設）・大崎市医師会
・醸室
・地域交流センター（あすも）
・大崎市民病院
・岩出山地区公民館
・大崎市役所三本木庁舎

６．その他
・職員のイエローグリーンリボン着用の推進
・５月 30 日（土曜日）午前 9～10 時，大崎市市民の禁煙をすすめる会とともに，古川駅にて啓発活動（イエローグリーンキャンペーン 2026 のティッシュ配布）